



# Seed CSR Letter

号外

CSRとは、企業の社会的責任を果たし、社会とともに発展していくための活動です。

## ■ アイメイト協会の支援

視覚障がい者の“見える”に繋がる、アイメイト育成を支援しています。

シードは、コンタクトレンズを通して“見える”をサポートしています。アイメイト協会は、視覚障がい者の“見える”役割を担うアイメイト(盲導犬)を育成しています。シードは、アイメイト協会と“見える”で共通していることから、シードビュアシリーズの売上の一部を毎年アイメイト協会に寄付しています。更に、シードは企業としての発信力を生かし、様々なイベントで視覚障がいに関する啓発活動をしています。

### 体験 レポート

アイマスクをして洗濯をしました!



目が見えない  
という状況を  
学んできました。  
普段何気なく  
している事が…



裏面のレポート詳細を  
CHECK!

## 株式会社シードとは

1957年10月設立。2017年に創立60周年を迎えました。コンタクトレンズを始めとするアイケア製品を通じて、お客様の「見える」をサポートしています。眼の専門総合メーカーとして、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



Interview by  
TOYO UNIVERSITY

## 株式会社シードが アイメイト協会の支援と保育園建設を 社会貢献活動に取り入れている理由とは!?

今回取材させていただいた、株式会社シードは  
今年でなんと!創立60周年!

アイメイト協会の  
支援や  
体験歩行!

近藤 雅子

創立60周年事業で  
鴻巣研究所隣接地内に  
現在建設中の

檜山 紗英

保育園に注目し、  
取材して  
参りました!

佐藤 可林

## ■ 来春開園!保育園建設に対する シードの思いとは?

育児をしながら働く皆さまの  
支援をしています。



企業にとって長く働く従業員はとても大切な存在であると考えており、シードでは育児をしながら働くお父さんお母さんを支援しています。この保育園は、シードの従業員のみならず、地域の方もご利用いただけるので昨今問題になっている待機児童解消に役立ちます。また、地域開放日などには、たくさん的人が集まることができ、地域の活性化、地域貢献にも繋がることを目指します。

# アイメイト協会訪問レポート

## アイメイト協会とは

1957年に設立された日本で最も歴史のある盲導犬育成団体です。視覚障がい者の自立支援と社会参加を促し、視覚障がい者と安心且つ安全に生活できるようにアイメイトの育成や、視覚障がい者への歩行指導・日常生活指導を行っています。

## 歩行体験

アイマスクを着用し、100mほどアイメイトとペアで歩く体験です。

と2つもない緊張感…!

## 日常体験

アイマスクを着用し、洗濯を行ないました！



手伝ってもらって  
やさしく何かわかる  
くらいです…

## アイメイト協会へ質問！

- Q.日本では、どれくらいの視覚障がい者がアイメイトを利用していますか？  
現在、全国で活躍している盲導犬は950頭前後です。  
その内、約30%がアイメイト使用者です。
- Q.アイメイト協会もシードと同じ創立60周年ということで、今後どのような活動をしていきたいですか？  
訓練にも歩行指導にも、ゴールはありません。  
視覚障がい者の歩行問題解決のために、更なる努力と工夫を重ねていきます。

### COMMENT

街で困っている視覚障がいの方を見かけたら声をかけ、必要に応じて案内や誘導することが大切であると感じました。誘導の際には、段差などの危険な場所があれば事前に知らせ、物の場所を確認してもらうために相手の手を持つて実際に触ってもらうなど、思いやりの気持ちを持って普段通り接することが私たちにできるサポートであると学びました。

## 10/29 アイメイト60周年記念 第41回アイメイト・デーに行ってきたよ！

今年は国産盲導犬第1号ペア誕生から60周年という記念式典でもあり、アイメイト使用者を始め、アイメイト協会を支援する人々、アイメイト育成に関わるボランティアの方々が一同に会しました。多くの方にアイメイト協会の事業が支えられていると感じました。



## 創立60周年記念事業 ふくろうの森 保育園(2018年4月開園予定)の 魅力を大解剖！



### 保育園の特徴

2018年4月開園予定の保育園及び、学童施設です。シード従業員の「子どもには様々な年代の児童と関わり、また助ける心を養ってほしい」という声を反映させ、大規模な保育施設となりました。

子ども目線で調理を楽しめるLIVEキッチンや実験ができるラボスペースも完備し、企業ならではのコンテンツを提供します。

子どもたちが、建物内部から園庭へ渦を巻くように広がる緑のスロープを元気に遊びまわることをイメージして設計しました。

設計担当：  
前田建設工業 池田さん



### 目指す保育園の姿

建物は、全面ガラス張りで、中と外の区切りを感じさせず、開放的な空間が広がります。園庭には、緑が広がり、生態系を自然に学べるビオトープ(地域固有の自然生態系)があり、四季が感じられる花々や木々が植えられます。1階には、保護者や地域の方々が利用できるカフェスペースを併設します。地域の憩いの場として、また子育てを応援するコミュニティスペースとして活用でき、地域に愛される保育園を目指しています。また園内には、1階から2階につながる緑のスロープがあります。地域開放日などでは、困っている人の手を引いてスロープを登ったり、車椅子を押したりするお手伝いを通じて、思いやりの心を育みます。子どもたちが思いやりの心を持って、自分から積極的に声掛けをし、困っている方を助け、地域の輪が広がることを目指します。

### 施設概要

ふくろうの森保育園(認可保育園)、シード保育園(企業主導型保育園)、学童保育ふくろうの森(放課後児童クラブ)  
住所：〒369-0131 埼玉県鴻巣市袋17番9(シード鴻巣研究所隣接地)  
園舎：鉄骨造地上2階建て 準耐火構造  
運営：社会福祉法人おひさま会  
定員：認可保育園90名、企業主導型保育園12名  
学童：放課後児童クラブを併設 定員40名



### 檀山 紗奈

東洋大学 社会学部 社会福祉学科



今回の活動を通じ、社会貢献活動による企業同士の繋がりなど、短い期間でしたが、社会について学ぶことができました。不慣れなことばかりの私たちをサポートしてくださったシードの方々、今回の活動で関わせていただいた企業の皆様に心より感謝申し上げます。大変お世話になりました。

### 近藤 雅子

東洋大学 社会学部 社会福祉学科



普段の座学では学べない貴重な体験や実際に企業の方とお話しすることで自分自身の視野の狭さを痛感しましたが、新たな発見や一つの事実に対する物の見方が変わりました。短い期間ではありますましたが、今回関わっていただきました方々に感謝申し上げます。

### 佐藤 可林

東洋大学 社会学部 社会福祉学科



私たち学生を受け入れ、フィールド活動をしてくださること自体が大きな社会貢献だと思いました。働く人は皆それぞれの個性を生かしながら行いに意味と責任を持っていることが分かりました。この度携わってくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。